

日本人ドライバー「福田良」スポンサー契約のお知らせ

エレコム株式会社（本社：大阪市中央区、取締役社長：葉田順治）は、2003年度よりパソコン周辺機器メーカーとして積極的に海外事業を展開して参りました。今年も引き続き更なる飛躍に向けチャレンジしていく姿勢を示すシンボルとして、2005年「ワールドシリーズ・by・ルノー（F3000）」に参戦する日本人ドライバー『福田 良』との年間スポンサー契約を結びましたので、お知らせいたします。

福田良は日本人唯一のフランスF3王者であり、国籍の違いを超えて活躍するドライバーとしてヨーロッパモーターファンの敬意と人気を獲得しています。そして今年はF1への登竜門として名高い「F3000 ワールドシリーズ byルノー」に名門チーム「ソルニエ」より参加、欧州各地を転戦することが決定しています。

われわれが福田良に注目した理由は、彼の国際性、先進性、知性を兼ね備えたチャレンジスピリットにあります。彼は幼少時に米国に滞在し、また16歳のときに単身渡仏するなど、ワールドワイドなコミュニケーション力を持っています。日本人レーサーが地元スタッフやファンにこれほど厚い信頼を得、フランス、UKのマスコミにも大きくとりあげられているのは非常にレアなケースです。彼は少年の頃より自らの意思で自分の進む道を切り開き、勇気、先進性と、より大きな世界へ挑戦してゆく気概を持ち続けております。この人となりに共感し、今回の契約を結ぶにいたりました。

海外展開でさらなるステージへチャレンジしていく「エレコム株式会社」と、世界にチャレンジし続ける「福田良」にご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



（左：福田良、右：エレコム株式会社 取締役社長 葉田順治）



(参考資料-1)

1. エレコム株式会社の海外展開

2003年 3月 : ELECOM UK LIMITED (英国) を設立
2003年 7月 : ELECOM KOREA CO., LTD (韓国) を設立
2004年 7月 : 宜麗客 (上海) 貿易有限公司 (中国) を設立
2004年 9月 : Elecom Deutschland GmbH (ドイツ) を設立
2004年 12月 : Elecom ITALY S. r. l (イタリア) を設立

2. 2005年ワールドシリーズ・by・ルノー スケジュール

戦	日程	開催国	開催地
1	4/30-5/1	ベルギー	ゾルダー
2	5/21-5/22	モナコ	モナコ
3	6/4-6/5	スペイン	バレンシア
4	7/9-7/10	フランス	ルマン
5	7/16-7/17	スペイン	ビルバオ
6	8/6-8/7	ドイツ	オッシャースレーベン
7	9/10-9/11	英国	ドニントンパーク
8	10/1-10/2	ポルトガル	エストリル
9	10/22-10/23	イタリア	モンツァ

3. 開幕戦 ベルギー・ゾルダー「福田良」レース結果

第1レース決勝 : 9位 完走・2ポイント獲得
第2レース決勝 : 8位 完走・3ポイント獲得



< 福田 良プロフィール >

1997年	12歳	12歳でカートレースデビュー
1995年	16歳	鈴鹿アジア・パシフィックグランプリ優勝
1996年	17歳	フランスのレーシングスクール「エルフ・ラ・ラフィリエール」奨学生として渡仏。 フォーミュラールノー・キャンパスに参戦、シリーズ 9位
1997年	18歳	フォーミュラールノー参戦、シリーズ 7位
1998年	19歳	同戦の市街地サーキット「ポー」で優勝。日本人は公道レースでは勝てない、というジンクスを打ち破る。優勝 3回、シリーズ 3位。
1999年	20歳	チーム「ラフィリエール」からフランス F3参戦、シリーズ 9位。初参加の『国際 F3マカオ GP』では、予選 23位から猛烈に追い上げ 8位でゴール。各国 F3のトップドライバーを相手に存在感を見せつけた。
2000年	21歳	2年目のフランス F3カテゴリーに参戦。チーム「LDオートスポーツ」へ移籍。第 4戦のマクニールで初優勝、第 6戦のヴァルデヴェンヌで 2勝目を挙げ、7戦連続で入賞を果たしランキング首位を独走。しかし、シーズン中盤からチーム体制が混乱しマシントラブルが続出。第 1戦のル・マンではドイツのチーム「ホフマン・モータースポーツ」から出場し、予選でポールポジションを獲得したが、ランキング 1位のコシェにぶつけられリタイア。結局、シリーズ 3位で終了。11月の『国際 F3マカオ GP』に二度目の出場は、名門チーム「プロマテクメ」から。予選は 3位。決勝第 2レースを 3位でゴール。執念で表彰台を獲得し、日本でも大きな話題となる。
2001年	22歳	フランス F 3 王者を獲得 チーム「ソルニエ・レーシング」（「プロマテクメ」から改称）に移籍して 3年目のフランス F3に参戦。第 2戦から 3連勝を飾りランキング首位に立つ。6月の F3ユーロカップ・ポー GPでは、国際 F3で日本人初の 2位を記録。その後も好調を維持し、フランス F3第 7戦を終了した時点ですでに 5勝。しかし、第 8戦の予選でクラッシュした後は調子を落とし、8月の国際 F3マルボロ・マスターズは 9位、フランス F第 9戦 3位。ランキングでライバルのモンテイロと並ばれる。プレッシャーのなか臨んだ第 10戦はポール・トゥ・ウィン&ファステスト・ラップの完全勝利。最終戦を残し、2001年フランス F3王者を獲得した。最終的には、1戦で優勝 7回、表彰台 7回と圧倒的な強さでシーズンを終了。11月、イギリス F3王者・佐藤琢磨、ドイツ F3王者・金石年宏との日本人 F 3 王者対決が注目を集めた、国際 F3マカオ GP参戦。優勝も期待されたが、決勝第 1レース 3周目でレース人生最大のクラッシュに巻き込まれ、リタイアに終わる。12月、ヨーロッパでの活躍とドライバーとしての実力が認められ、F1チーム「ラッキーストライクBARホンダ」とのテストドライバー契約を発表。
2002年	23歳	F1チーム「ラッキーストライクBARホンダ」のテストドライバーを務める。ル・マン 2 4 時間レースに GT クラスのフェラーリで初参戦、約 5 時間ドライブし奮闘するも 15時間目でマシントラブルによるリタイア。スパ 2 4 時間レースに参戦、23時間目 5 位走行中、マシントラブルによるリタイア。
2003年	24歳	チーム 5ZIGENよりフォーミュラ・ニッポンに第 1 戦から第 5 戦まで参戦、最高位 6 位入賞。ル・マン 2 4 時間レースに近藤真彦監督率いる KONDOレーシングのジャパンドリームチームより近藤真彦監督、片山右京選手と参戦、13位でフィニッシュ。
2004年	25歳	ワールド byニッサン参戦、開幕戦第 1 ヒートでは、決勝で 1台抜きの快走を見せ 6位入賞、第 2 ヒートでは 3位表彰台。